

## 事業者リサイクルコンテスト受賞者の取組内容紹介

### 橋本アルミ株式会社 本社

大阪市浪速区桜川 1 - 1 - 19

事業内容：銅・アルミ・ステンレスなどの非鉄  
金属リサイクル

従業員数：6名

#### 《効率的なシステムを考える》

ゼロミッション経営の実現に向けて、「自社廃棄物のゼロ目標」「自社内での再利用」「リサイクル原料として」の事業系ごみの3面でのゼロミッションを宣言し、事業系ごみ(紙ごみ)の事前選別の徹底 納品・引き取りのセット化 CO<sub>2</sub>の削減の3つを宣言実行の計画のポイントとし、ごみ減量・リサイクルに取り組んでいます。その際、定例勉強会(月一)を開催し、会社全体でいかに効率よく行うかを考慮し、銅の納品業者が古紙回収業も兼ねていることから、帰り荷で古紙を回収してもらう工夫をした。これにより、回収費用がかからず、また、納品の帰り便に積載するため、古紙の回収におけるCO<sub>2</sub>を発生させないことが可能になりました。

#### 《資源化による廃棄物の排出量削減》

会社で発生する残渣については、産業廃棄物として処分していたが、再使用やリサイクル可能なものを探してリサイクル等するようにしました。

例としては、鉄くずはプレスして銅の搬入業者に帰り荷で持ち帰ってもらう。その他、帰り荷で回収できるものを提案してもらう。また、搬入時に使用されていた木枠や袋などは、出荷時に再使用する。これらの取組みにより、廃棄物の減量と処分にかかる経費を削減することができました。

#### 【選考における評価事項】

リサイクル業という特殊な業種における事例であるように思われるが、帰り荷を利用し、わざわざ回収に来てもらう手間を省くことでの経費及びCO<sub>2</sub>の削減を可能としている点に工夫がみられる。

また、会社で発生する廃棄物の種類を研究することで、再使用やリサイクルの方法を見つけて経費の削減につなげている点は、他の事業者にとっても有益な手法となると考えられる。